

大畑 英雄（大畑 耕雲）（おおはた ひでお）
〔伝統技術工芸（武者絵のぼり）〕
〔地域文化振興〕

昭和 22（1947）年 9 月 29 日生

令和 2（2020）年 12 月 11 日逝去（満 73 歳）

市貝町在住（当時）

氏は、高校卒業後、父の大畑力三氏（二代耕雲・栃木県指定無形文化財）に師事し、大畑家に伝わる伝統的な武者絵のぼりの製作技法を習得され、三代目耕雲として、また、栃木県指定無形文化財保持者として、武者絵のぼりを製作する職人が減少するなか、希少価値の高い、美しく勇壮なのぼりの製作に励まれました。

昭和 51 年に昭和天皇と皇后の両陛下が栃木県立美術館を訪問された際には、父力三氏とともに武者絵描きを披露されました。また、平成 11 年にアメリカインディアナ州と栃木県との姉妹提携の調印の際には「とちぎ文化工芸団」として派遣され、武者絵を実演されたほか、フランスの日仏工芸展やアヴィニヨンフェアなど、海外において武者絵のぼりの製作・実演を精力的に行うなど、栃木県の伝統文化「武者絵のぼり」を国内外へ普及させることに力を注がれました。

氏は、下野手仕事会の 6 代目会長として、伝統技術工芸の保存や継承にあたり県内伝統工芸士の牽引役を務められるとともに、下野民俗研究会の理事として、県内の民俗文化財の普及や人材育成にも尽力されるなど、地域の文化振興に大きく貢献されました。